岩手 横沢統一候補 必勝へ 合同演説

野党共闘 固い結束

穀田国対委員長が訴え

必勝への決意を示す（右から）高橋、木戸口、横沢、穀田、小西の各氏＝15日、盛岡市

自民党現職と大激戦の参院岩手選挙区で、横沢たかのり統一候補（元パラリンピック選手）を何としても押し上げようと、4野党合同街頭演説が15日昼、盛岡市のJR盛岡駅前で開かれました。

日本共産党の穀田恵二国対委員長・衆院議員は「4年前の知事選勝利から始まった野党共闘の源流の地である岩手で、絶対に負けるわけにはいかない」と力を込め、横沢候補の必勝で「岩手から新しい政治の流れをつくった」という結果を出そうと熱烈に訴えました。

横沢候補は「被災者などが苦しい生活を送る中、消費税率10％への増税はあり得ない。まずは生活を温め、安心して老後を暮らせる年金制度をつくる」と声を振り絞りました。

国民民主党の木戸口英司参院議員（野党統一）は「現職の背中が見えてきたが、まだ追いかけている状況だ」と奮起を呼びかけました。立憲民主党県連合の高橋重幸代表は「参院選で勝ち抜き、暮らしの安心を取り戻す」と述べ、社民党県連合の小西和子代表は「平和と平等の共生型社会をめざす横沢候補を」と強調しました。

演説を聞いた60代の女性は「消費税増税はイヤ。横沢さんにがんばってほしい。共産党は野党共闘で懐が深くなった。比例では入れる」と語りました。

日本共産党の小池晃書記局長は15日、神奈川県内での街頭演説で、公明党の斉藤鉄夫幹事長が同日の街頭演説で、「幼児教育の無償化に反対した共産党」と攻撃したことに反論しました。

小池氏は、安倍政権が実施する「幼児教育・保育無償化」は、消費税率10％への増税と同時に行う「抱き合わせ」だと批判し、「子育て世代に最もきびしい消費税増税で、5兆円もの負担を押し付けるやり方に賛成できるわけがない」と強調しました。

それに加えて小池氏は、保育所では減免費用の約半分が年収640万円以上の世帯に向けられる仕組みだと指摘。もともと低所得世帯には保育料の減免措置が実施されているとし、「所得が低い家庭には『無償化』の恩恵はなく、消費税増税だけがのしかかる。これこそ弱い者いじめではないか」と指摘しました。

幼児教育・保育の「無償化」で 公明党に反論

小池書記局長

また、保育士の配置数や保育室の面積などで国の基準に満たない認可外保育所は市町村が全額負担する仕組みだとして、公立園の廃止・民営化の動きが加速しかねないと問題点を告発しました。

小池氏は、「共産党は、保育労働者に国の責任でただちに月5万円賃上げ、認可保育所を30万人分増設し、保育水準を確保しながら待機児童を解消することと一体に『幼児教育・保育の無償化』を進めます」と強調。その場合も、財源は消費税ではなく、大企業や富裕層に応分の負担を求めて実施すべきだと主張しました。

支部・後援会が奮闘

埼玉

相手の話を聞き 共に考える対話

さいたま市岩槻区の女性後援会の佐藤訓子さんは15日、仲間と2人で、日本共産党と伊藤岳埼玉選挙区候補の支持を広げました。テレデータを中心に、14日までに対話264人、支持111人で、うち40人が〝担い手〟になってくれました。

「テレデータでの対話は街の〝空気〟がわかるから好き」と明るく元気に支持を広げる佐藤さん＝15日、さいたま市岩槻区

「私は今の安倍政治を変えたいんです」と、まず自分の思いを伝えている佐藤さん。

「政治や選挙の話をしたかったんだなと思う人に何人も出会う」。話を聞き、一緒に憂え、希望を語ります。

野党共闘の発展や党の「三つの提案」を伝えると、支持に至らずとも「よく考えるよ」という人も。支持の人には「選挙区は（改選数が）一つ増えてチャンスです。ぜひ広げていただけませんか」。対話できた人には最後に必ず伝えます。「お話しできてうれしかった。ありがとう」と。

北海道

働く世代豊かに 党の提案を紹介

札幌市豊平区の電話センター。連日電話にかじりついています。

「商売でやっていけないので、パートで働いている」という自営業者の70代女性と対話した福住支部の中島英世さん（77）。「子や孫の将来が不安」と訴える女性に、中島さんは「減らない年金と年金底上げへ共産党は1兆円の新財源をつくります」と語ると、女性は「子どもにも話します」と応じました。

「非正規で働き、将来に希望が持てない」と21歳の女性。支部員は、最低賃金は今すぐ1000円、正規雇用が当たり前のルールをつくり、働く世代を豊かにする日本共産党の提案を紹介。女性は「そうなればいいですね。共産党のビラを参考にして、投票に行きます」と答えました。

神奈川

毎日の支持拡大 目標突破は目前

横浜市旭区の日本共産党二俣川支部は15日、参院選勝利に向けて掲げた支持拡大目標まであと33票に迫りました。伊藤忠支部長（80）は「たたかいは苦しいものだからこそ、やったかいがあったと言える結果を出したい」と、比例80万票の大波を起こし、21年ぶりの選挙区での勝利で、あさか由香候補も国会に送ろうと全力を挙げています。

支部会議への参加者を増やして迎えた参院選。「2票、3票でもいいから毎日上げよう」と、みんなで積み上げてきました。高齢者も多く、統一地方選からの奮闘に疲れも見えますが、伊藤支部長は「もう最終盤。痛い、かゆいと言うのはよそう」と意思統一。「党員の真価が問われている。最後まで頑張ろう」と訴えています。

大阪

「減らない年金」 元気よく訴える

買い物客が行き交う大阪市此花区の四貫島商店街で15日昼、元気な声が響きました。

「年金は、今のままでは、さらに2万円減ります。子や孫にこんな年金を残していいんでしょうか。何となく与党に投票していたら大変です。日本共産党は減らない年金をつくります。財源もあります」

党支部と後援会の女性らが、比例代表選挙の標旗を掲げて元気よく宣伝。「減らない年金」「JCPプラン 財源案」のプラスターを掲げ、支持を呼びかけました。

自転車を止めてビラを受け取り、その場で開いて読んで「必ず投票に行く」という人や「家族が入院しているが投票できるのか」と聞いてくる人も。党員が丁寧に説明しました。

プラスターを掲げ、懸命にビラを配る人たち＝15日、大阪市此花区

愛知

投票困難な人に 期日前の送迎も

愛知県半田市の電話センターでは「選挙は大激戦。比例は日本共産党、選挙区は、すやま初美と書いて投票してください」と連日電話作戦に取り組んでいます。15日は、鈴木健一市議を先頭に半田西支部の人たちが次々と電話をかけました。

支部の人たちは「年金削減、消費税増税とか安倍さんに政治を任せていたら、私たちの暮らしは壊される。あなたの一票で政治が変わります。友人知人にも広げてください」と訴えました。

「交通事故で背骨を痛めた。選挙に行きたくても行けない」と話す女性と対話。送迎を提案すると「お願いしたい」と答え、期日前投票に行きました。「共産党がようがんばっとるのは、みんな知っとる。がんばってくれ」と男性から激励の声もありました。

徳島

反戦・平和97年 〝老舗〟伸ばして

徳島市の日本共産党上八万支部は連日、電話での支持拡大に取り組んでいます。1500人の支部の支持拡大目標を達成しようと、15日には支部のたまり場に集まり、支持を訴えました。

すでに370人を超える支持を広げた梯和夫さん（80）は「今日は党創立記念日です。97年間反戦・平和、国民とともに頑張る老舗の党を伸ばしてください」と訴えます。年金が減らされ困る、と語る女性とは「安倍政治としっかり対決する共産党が増えることが大事」と対話。「家族3人は入れる」と言う女性に「広げてください」と訴えました。

山田節子さん（69）は、投票に行かないと言う人に「消費税増税を止める選挙。みんなの投票で政治は変わる」と訴えました。

宝の議席 現職3選挙区 なんとしても

田村副委員長（左）とともに訴える吉良候補＝15日、東京・上野駅前

ぶれずに97年 東京・吉良候補

大激戦・大接戦の中、奮闘する日本共産党の吉良よし子参院東京選挙区候補は15日、田村智子副委員長・参院議員とともに、比例110万を必ずやり切ろうと江戸川、台東、千代田、渋谷、世田谷各区をめぐりました。

「お金がないことが原因で、夢をあきらめさせる社会を変えなくてはなりません」と力を込めた吉良候補。返さなくていい奨学金、学費の値下げ、減らない年金を実現しよう、と呼びかけると聴衆から拍手が起きました。

田村氏は「今日で党をつくって97年。ずっとぶれずに頑張ってきた政党です。比例は日本共産党、選挙区は吉良よし子へ」と訴えました。

江戸川区在住の女性保育士（37）は「学費値下げを実現してほしい」と話しました。

市民から激励をうける、たつみ候補＝15日、大阪市

憲法を生かす 大阪・たつみ候補

当落線上、猛追している、日本共産党の、たつみコータロー大阪選挙区候補は15日、大阪市、東大阪市を駆けめぐり「暮らし守れ、憲法9条守れの声をどうか日本共産党と私に託してください。大激戦です。勝たせてください」と、逆転勝利へ党派を超えた支援を訴えました。元公明党副委員長の二見伸明さんが来援し、大阪市内3カ所で「憲法を生かす共産党」への支援を呼びかけました。

同市東住吉区の駒川商店街では山本のりこ比例候補、後援会員と歩いて訴え。「消費税増税ストップ、減らない年金、お金の心配なく学べる社会にしましょう」と力を込めました。店から出て激励した女性は「年金、消費税、親の介護、子どもの働き方、どれも切実です。共産党に期待しています」と話しました。

有権者と握手する倉林候補＝15日、京都市

政治に希望を 京都・倉林候補

日本共産党の倉林明子参院京都選挙区候補は15日、京都市内3カ所で志位和夫委員長とともに街頭演説し、「京都選挙区は当落線上の大激戦。何としても勝ち抜かせてください」と訴えました。

年金問題、消費税増税などに対する党の政策を語った倉林候補は「社会保障切り捨ての政治から、社会保障に希望が持てる政治へ転換しよう」と呼びかけました。

京都市左京区の百万遍交差点で演説を聞いていた女性（75）は「（府南部の）精華町から倉林さんの応援に来た。国会になくてはならない人。自分も何かできないかと、居ても立ってもいられなくて。孫が大学生で、周りもみんな学費で困っている。安心して学べる国になってほしい」と語りました。